# 創立 70 周年を迎えるにあたって

一般社団法人日本繊維機械学会は，繊維産業に携わる方々の結集体として昭和 23 年に設立されて以降，

- 繊維関連技術発展と人材育成のための研究発表会，講演会，講習会等の企画実施
- 学会誌および論文集等の発刊をはじめとする繊維・繊維機械技術に関する学術の普及
- 国際会議開催等による国際社会への技術発信と交流活動

を活発に展開し，繊維及び繊維機械に関する学術の進歩，かつこれらに関連する工業技術の発展に努め，平成 29 年に創立 70 周年を迎えることとなりました．これはひとえに会員の皆様の絶大なるご支援とご協力の賜物であり，ここに深く感謝の意を表します．

学会創立以降，繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きな発展を遂げた一方，繊維産業を取り巻く環境も変貌を遂げるなか，時代に即した技術者，研究者の育成支援も必要です．

70 周年という節目にあたり，このような繊維産業を取り巻く現状を鑑み，本学会では，繊維及び繊維機械に関する更なる学術の進歩，工業技術への更なる貢献を推進すべく，**「繊維産業の未来を語ろう」**をメインテーマとして，下記の記念事業を計画しております．

| |
|---|
| **（1）創立 70 周年記念式典**<br>【期日】平成 29 年 9 月 13 日（水）<br>【会場】京都工芸繊維大学　松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 ）<br>【内容】産・官・学からのご祝辞や基調講演ならびに繊維産業に携わる方々の交流を促進． |
| **（2）日本繊維機械学会ミュージアム**<br>【期日】平成 29 年 9 月 13 日（水），14 日（木）<br>【会場】京都工芸繊維大学　松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 ）<br>【内容】繊維産業に関わる人材の育成を目的とし，繊維関連企業にご協力いただき，繊維産業の社会への貢献をテーマとした技術展示． |
| **（3）国際シンポジウム「第 45 回繊維工学研究討論会」**The 45th Textile Research Symposium<br>【期日】平成 29 年 9 月 14 日（木）～ 16 日（土）<br>【会場】京都工芸繊維大学　松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 ）<br>【内容】国内外の技術者・研究者の国際的な技術交流と連携の深化． |
| **（4）第 70 回記念年次大会**<br>【期日】平成 29 年 6 月 2 日（金），3 日（土）<br>【会場】大阪科学技術センター（大阪市西区靭本町 1-8-4）<br>【内容】研究成果，製品発表ならびに懇親会を通じて，学術的・技術的交流を深め，繊維ならびに繊維機械に関する情報や意見交換を行う（第 69 回大会の参加者は延べ 650 名）． |
| **（5）繊維機械学会誌「月刊せんい」特集号の刊行**<br>【内容】平成 29 年度に記念特集号を刊行． |
| **（6）若手研究者・技術者育成基金の設立**<br>【内容】次世代の繊維産業を担う若手人材育成を目的として，10 年間にわたり研究助成金を交付するための基金を創設する． |

創立 70 周年記念行事に加え，若手研究者・技術者育成基金の設立には，通常の学会活動資金に加えて新たな財源を必要と致します．本活動へのご理解をいただき，広く皆様方よりご寄付のご支援・ご協力を賜りますよう，謹んでお願い申し上げる次第です．

賜りましたご寄付は，学会の特別会計に繰り入れ，上記の実施に充てさせていただきます．募金総額は 1,600 万円を目標としております．正会員のみなさまには 1 口 5,000 円にてご協力賜りますよう，お願い申し上げます．

一般社団法人日本繊維機械学会長　喜成　年泰
創立 70 周年記念事業実行委員長　鋤柄佐千子

# 日本繊維機械学会　第23回秋季セミナー「ものづくりの潮流 ～価値創造の進路を求めて～」

日本繊維機械学会では，産学官の繊維に関わる方々を対象に，最新情報の収集ならびに意見交換の場となることを目的として，毎年11月に秋季セミナーを開催しております．第23回となる今回は来る11月10日（木），11日（金）の両日，大阪市の大阪大学中之島センターで開催致します．

今回は，「ものづくりの潮流　～価値創造の進路を求めて～」をメインテーマとしました．近年，ドイツのIndustry 4.0に代表されるように，IoT（Internet of Things）を活用した新しいものづくりの形が提唱されるなど，製造業を取り巻く状況は大きな変化の兆しを見せております．一方で，消費者が求める価値も，単に製品の機能的特性から得られる価値から，サービス等によって消費者個々の「こだわり」を満たすような心理的価値へと転換が進み，マスカスタマイゼーションへの要求も膨らんできています．

今回のセミナーでは，このような大きな潮流の中で，日本はどこを目指すべきなのか，日本のものづくりに希望の新大陸はあるのかについて，まずは特別講演において，産・官・学の専門家の方々にご講演をいただきます．また，テーマ別講演では，繊維業界での最新の話題について，「価値」をキーワードとした講演をいただきます．

また，本セミナーの役割には，繊維技術交流をより積極的に進めることがあります．その役割に資するために，今回も，全国の公的試験機関の研究開発成果について，機器展示・ポスター展示を行います．

本セミナーが，今後のものづくりの将来を考え，議論する場になれば幸いです．皆様のご来場をお待ちしております．

**期　日**　**平成28年11月10日(木)，11日(金)**

**会　場**　大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53）
京阪電車「中之島駅」下車徒歩約3分，http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php

**内　容**

**第1日目【11月10日(木)】**

| | |
|---|---|
| **10階　佐治敬三メモリアルホール** | |
| 12.50～ | 開会の辞 |
| 12.55～ | 挨　拶 |
| 13.00～14.00 | **特別講演（1）過去から未来への未来予測とIoT・AIがもたらすインパクト**<br>**近畿経済産業局　地域経済部情報政策課長　石原　康行**<br>100年前から現在まで，人はどのように未来を予想し，それが実現できたのかについて，親しみのあるアニメや雑誌などを対象として考察します．更に，昨今話題のIoTや人工知能の状況及び最近のユニークな商品等について，事例と共にご紹介し，IoTの本質や感性価値及びそれらがもたらすモノ作りや経済社会へのインパクトについて，経済産業省の産業構造審議会の議論等を踏まえ考察します． |
| 14.10～15.10 | **特別講演（2）新たな日本のモノづくり変革 ー素材による価値実現のためにー**<br>**元 東レ（株）代表取締役副社長・CTO　田中　千秋**<br>今，世界は歴史的転換点に立つ．1つが環境・エネルギー新時代であり，もう1つが真のグローバル時代の始まりである．その中で，何故日本のモノづくり産業力を失っていったのか？「技術に勝って事業に負ける日本」とよく言われるが，果してそうなのだろうか．日本のモノづくり競争力は欧米先進国に追いつけ・追いこせ時代のビジネスモデルから生まれた．そこから脱皮できないところが真の原因である．グローバル時代の競争力を高める価値創造型モデルへの転換を，具体例をもって示したい． |
| 15.20～16.20 | **特別講演（3）価値創出指向の新ものづくりへの動き　大阪大学・神戸大学　名誉教授　岩田　一明**<br>近年，ものづくり分野では国際的な競争優位を目指して，価値に主眼を置いた広義のものづくり（新ものづくりと呼ぶ）に関心が集まっている．本講では，まず，最近における価値観の視座，次いで，「ものづくりと価値創出との相関」ならびに「新ものづくりのデザインとその背景にあること」を概観し，最後に今後への期待に関して私見を述べてみたい． |
| 16.20～16.30 | 休憩 |
| 16.30～17.20 | 繊維関連公設試によるショートプレゼンテーション（10階　佐治敬三メモリアルホール） |
| 17.30～18.10 | 繊維関連公設試によるポスターセッション（7階　会議室702） |
| **9階　交流サロン「サロン・ド・ラミカル」** | |
| 18.10～19.30 | 交流会 |

**第2日目【11月11日(金)】**

| | 7階　会議室702 | 7階　会議室703 |
|---|---|---|
| | **価値を纏う，ウェアラブルな未来** | **新素材のすすむ路** |
| 9:50～10:40 | **機能繊維×ロボティクスで新価値を生み出す**<br>**龍谷大学 理工学部　機械システム工学科　助教**<br>**HO Anh - Van**<br>IoTブームの中，繊維による高性能のあるウエアラブルデバイスを人間が便利に使えるように開発する進展がある一方，人と協調できるロボットを向ける布地ベースのロボティクスキンの開発も進める．そして，ロボットの全腕・全身に装着できる多性能のある柔軟な布地ロボティクスキンを造れる技術はウエアラブルデバイスの設計動向につながるだろうと考えられる．本発表に，開発した分布的な圧力や近接やすべりを測定・検出できる布センサを紹介します．また，ロボティクスにおける柔軟な形態学の制御に基づいた繊維の新たな機能を生み出せる概念も解説します． | **セルロースナノファイバー ー裏山から来る産業資材ー**<br>**京都大学　生存圏研究所　教授　矢野　浩之**<br>セルロースナノファイバー（CNF）は，木材をナノオーダーにまで微細化することで得られる産業資材である．軽量，高強度などの優れた特徴があり，次世代の高機能繊維材料として注目されている．本講演では，セルロースナノファイバーの構造，製造，機能化，応用と共に京都大学が進めている自動車部材等構造用途への利用について紹介します． |

| | | |
|---|---|---|
| 10:45<br>〜<br>11:35 | **e ーヘルメットによる生体情報監視システム**<br>**スターライト工業（株）新歩推進ユニット**<br>**新商品試作グループ　第２チームリーダー**<br>**東島　将俊**<br>当社は，樹脂を活用したトライボロジー技術をコアとし，各産業分野に向けて，高機能性樹脂製品を開発してきました．一例として，1952 年には国産第１号となる合成樹脂製ヘルメットを世に送り出しました．近年では，ケミトロニクス応用商品の開発も積極的に進めており，本講では，ヘルメットを媒体として，人の姿勢・動作と作業環境を把握できる監視システムを紹介します． | **ヤモリ足裏を模倣した接着機構**<br>**大阪大学　大学院工学研究科　機械工学専攻　准教授**<br>**平原　佳織**<br>**四国職業能力開発大学校　校長，大阪大学・名誉教授**<br>**中山　喜萬**<br>ヤモリの足裏は驚異的な剪断接着力を示すことはよく知られているが，近年カーボンナノチューブ（CNT）を用いてこの接着機構を模した接着テープを大学と企業の共同研究により実現した．接着面を汚すことなく耐熱性に優れるなどの利点があり，既に市販化に至っている．講演ではこの CNT 人工ヤモリテープの構造や接着機構について紹介します． |
| 11:40<br>〜<br>12:30 | **動作補助機能を備えた衣服（ロボティックウェア）の創製を目指して**<br>**信州大学　繊維学部　機械・ロボット学科　教授**<br>**橋本　稔**<br>超高齢化社会の進行の中で，ウェアラブルなロボットによって動作を補助して高齢者を支援する技術の開発が盛んに行われている．しかし，ロボットの形状，重量，素材の問題があり，一般に受け入れられるロボットは実現されていない．<br>普段着用している衣服自身が力を発生して人の動きを補助することができれば，高齢者介護，労働力不足などの社会問題を解決するキーテクノロジーになるものと考えられる．本講演では，このロボティックウェアの研究の現状と課題について，ロボティックウェア curara® の開発とソフトロボティックデバイス PVCGEL（高分子アクチュエータ）の研究を中心に述べます． | **先端繊維とスポーツウエア**<br>**（株）ゴールドウインテクニカルセンター　開発部　部長**<br>**中村　研二**<br>進化するスポーツウエアを支える様々な最先端の高機能繊維．ナノファイバーや高強度繊維を使ったラグビー全日本代表ユニホーム，繊維導電化技術をナノファイバーに適用させた hitoe を採用した，心拍測定ウエア等の商品開発を紹介します．更には，人工クモ糸でつくるスポーツウエアの可能性について考える． |
| 12:30<br>〜<br>13:30 | 休憩（昼食） | |
| **日本繊維機械学会「技術賞」受賞講演**（７階　会議室７０３） | | |
| 13:30<br>〜<br>13:55 | **（１）高性能 CFRP ソールの成形技術 - 陸上スパイクへの適用ー**<br>**（株）アシックス　スポーツ工学研究所　次世技術開発チーム　マネジャー　谷口　憲彦**<br>近年，炭素繊維強化プラスティクスに代表される複合材料の優れた機械的性質を様々な民生品へ適用する検討が数多くされている．本講演では，軽量化，高性能化を目的に複合材料を陸上シューズ開発に適用した事例を紹介します．加えて，本開発を遂行する過程において構築された計測技術，および，成形技術に関しても具体的な事例を交えつつ紹介します． | |
| 13:55<br>〜<br>14:20 | **（２）競泳水着における機能性設計開発**<br>**ミズノ（株）グローバルアパレルプロダクト本部　開発・ソーシング部 材料開発課　技師　田中　啓之**<br>水着は競技パフォーマンスに影響を及ぼす重要なアイテムである．ミズノは１／100 秒でも記録を縮めたい選手をサポートする為に，様々な研究・開発を行っています．今回はトップ選手向け競泳水着「GX・SONIC Ⅱ」で採用した低抵抗素材の開発及び独自の筋骨格シミュレーション手法を用いた機能性設計について発表します． | |
| 14:20<br>〜<br>14:30 | 休憩 | |
| | **あらたなデザイン 〜日本発付加価値技術を求めて〜** | **ＦＲＰ技術の新たな兆し** |
| 14:30<br>〜<br>15:20 | **新たなデザイン，開発時の必須項目である「付加価値」への検証と提言**<br>**OFFICE KURUMA テキスタイルコーディネーター　車　純子**<br>日本人の開発能力や技術力は，世界でも高く評価されているのに，世界的ヒットが生まれにくいのはなぜか．新しいものを開発して商品化，その後市場での商品競合に陥ってからのデザイン合戦．しかし今の消費者世代は，自分にとって付加価値のないものは購入しない．デザインとは，付加価値ではく，開発に基づく必須項目である事例から検証． | **CFRP 業界に必須の設計スキルと業界参入戦略**<br>**FRP consultant 代表　吉田州一郎**<br>高い性能を有することから自動車などへの適用に期待の高まる CFRP．ところが期待とは裏腹に適用が進んでいない．本原因として材料価格や作りにくさが論じられる一方，「CFRP 材料を使いこなす設計スキルの不足」という根本原因が語られることは少ない．本講演では CFRP 業界動向紹介，従来材料で機能した分業体制の通用しない CFRP 適用拡大に必須の設計スキル，ならびに業界参入を目指す企業の戦略について概論を述べます． |
| 15:25<br>〜<br>16:15 | **あらたなデザインを生み出す流行の周期と日本語の感性**<br>**（株）感性リサーチ　研究員　手塚　祐基**<br>同じ一人の人の中でも，ローウエストが好きな時代とジャストウエストが好きな時代があるように，感性は時代によって変化してゆきます．この感性の変化が流行周期をつくり，新しいものを生み出す原動力となります．また，日本語がつくる感性は，流行周期と新しいデザインにどう関係するのかを事例を見ながらお伝えします． | **熱可塑性 CFRP に未来はあるか？欧州の最新技術動向と用途拡大への解決策**<br>**近畿大学　理工学部 機械工学科　教授　西籔　和明**<br>大阪生まれの炭素繊維は軽量化の切り札として注目度は高く，とりわけ熱可塑性 CFRP は生産性・耐衝撃性・再利用性に優れ，様々な製造法が適用できるため様々な業界からの参入が多い．しかし，その量産化への道は意外に険しい．欧州での最新技術動向を紹介し，熱可塑性 CFRP の用途拡大への解決策とその将来像を語ります． |
| 16:20<br>〜<br>17:10 | **日本初 国際標準化された抗微生物試験・消臭試験規格の紹介**<br>**（一財）ボーケン品質評価機構　上海試験センター　係長**<br>**川畑　孝司**<br>近年，日本が誇る繊維加工技術の一つとして抗菌加工が挙げられます．「抗菌」は繊維をはじめ，プラスチック・金属などの製品にも付与され，世界的に見てもその需要はますます拡大するものと考えられます．<br>一方，その信頼の裏付けとしては，日本から ISO 規格へ抗菌加工の評価方法を積極的に提案，その多くが採用されるという確固たる実績があるためです．本講演では，日本発の提案で採用された，繊維製品の抗菌・抗カビ・抗ウイルス等の ISO 規格を紹介します． | **炭素繊維強化樹脂複合材料（CFRP）の用途展開の現状と将来動向**<br>**東レ（株）ＡＣＭ技術部　チーフアドバイザー　京野　哲幸**<br>我が国で炭素繊維が工業化されて，45 年が経過した．炭素繊維は主として炭素繊維強化樹脂複合材料（CFRP：Carbon Fiber Reinforced Plastics）の形態で用いられ，1970 年代前半のスポーツ用具への適用から始まり，次いで，民間航空機構造部材への適用，近年では圧力容器，風車，自動車などの一般産業用途への需要が大きく伸びている．本講では CFRP 用途展開の現状と将来動向を紹介します． |
| 17:10 | 閉会の辞 | |

**参加費**　会員 22,000 円，非会員 30,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円，
特定会員（65 歳以上の正会員）8,000 円（税別）

**申　込**　「第 23 回秋季セミナー」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別，⑤交流会参加（参加無料）の有無を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい．学会 HP の秋季セミナー頁より参加申込（WEB 申込）ができます．

**申込先**　日本繊維機械学会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail：info@tmsj.or.jp

# 第 23 回秋季セミナー
# 繊維技術交流研究試作品・指導作品・研究成果及びポスター募集

第 23 回秋季セミナーでは，ものづくりの潮流 ～価値創造の進路を求めて～をテーマに開催いたしますが，繊維技術交流として全国の繊維関連公設試験研究機関や産地の企業の新技術開拓，新製品開発及び技術改善等の研究成果・試作品及びポスターを募集いたします．公設試験研究機関，産地の中小企業およびコラボレーションによる作品をお待ちしております．

**期　日**　**平成 28 年 11 月 10 日（木）**

**会　場**　大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島 4-3-53）

**内　容**

（1）ショートプレゼンテーション
（2）作品およびポスターの前にて参加者と交流

**ショートプレゼンテーション**

1 件 約 4 分のプレゼンを行います．

**作品およびポスター発表（交流）**

ポスターの前にて参加者と交流

**定　数**　16 件（定数になり次第締め切らせて頂きます）

**その他**　詳細は学会 HP をご参照下さい．

**企画委員会**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 委員長 | 中西　康雅（三重大学） | | |
| 副委員長 | 井出　潤也（クラレ） | 田上　秀一（福井大学） | 松﨑　　健（ミズノ） |
| 企画委員 | 青谷実知代（神戸松蔭女子学院大学） | 伊藤　智樹（ボーケン品質評価機構） | 稲富伸一郎（東洋紡） |
| | 奥野　智朗（住江織物） | 奥林　里子（京都工芸繊維大学） | 佐久間　淳（京都工芸繊維大学） |
| | 佐藤　克成（奈良女子大学） | 滋野　治雄（帝人） | 杉山　研志（TMT マシナリー） |
| | 筒井久美子（村田機械） | 高橋　利幸（東レ） | 仲井　朝美（岐阜大学） |
| | 西山　武史（ユニチカトレーディング） | 馬場武一郎（日本毛織） | 原　　茂（豊田自動織機） |
| | 伴場　秀樹（津田駒工業） | 東山　幸央（兵庫県立工業技術センター） | 廣澤　　覚（京都市産業技術研究所） |
| | 森島　英暢（倉敷紡績） | 若松　栄史（大阪大学） | |
| アドバイザリー | 宇治　光洋（ダイセン（繊維ニュース）） | 越智　清一（繊維評価技術協議会） | 武内　俊次（福原産業貿易） |
| | 中村　　信（ダイキン工業） | 松下　義弘（京都工芸繊維大学） | 六田　克俊（森田工業） |

# ナノファイバー研究会ならびに不織布研究会 合同研究会

**期　日**　**平成 28 年 9 月 16 日（金）午後**

**会　場**　高知県立紙産業技術センター，廣瀬製紙㈱

**内　容**　予定

12.30　JR 高知駅集合
12.30～13.00　移動（貸切バス）
13.00～15.30　見学：高知県立紙産業技術センター
講演：「高知県立紙産業技術センターに於ける設備（主に，メルトブロー，スパンレース，スーパーカレンダー）の設計ポイント」
講師：六田克俊
（日本繊維機械学会フェロー，高知県立紙産業技術センター客員研究員）
講演：「エレクトロバブルスパンナノファイバーの特性および量産化について」
講師：岸本吉則
（廣瀬製紙㈱ナノファイバー事業化推進室長）
15.40～16.00　移動（貸切バス）
16.00～16.50　見学：廣瀬製紙株式会社
16.50～17:30　移動（貸切バス）
17:30　JR 高知駅にて解散
18:00～19.30　交流会

**定　員**　20 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費**　会員 12,000 円，非会員 20,000 円，学生会員無料，学生非会員 3,000 円（税別）
ナノファイバー研究会ならびに不織布研究会メンバーは無料，交流会参加費別途 6,000 円程度

**申　込**　「ナノファイバー研究会･不織布研究会合同研究会」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別，⑤交流会参加の有無を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛てお申し込み下さい．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます．

**その他**　詳細な集合場所等は参加者へご案内致します．

**申込先**　日本繊維機械学会
〒 550-0004　大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

**学会誌編集委員会**

委員長　勝圓　進（倉敷紡績）
副委員長　岡本　陽子（神戸女子大学）
編集委員　一田　昌利（京都工芸繊維大学）　乾　明子（カケンテストセンター）　大萩　成男（和歌山県工業技術センター）
岡田　倫子（滋賀県東北部工業技術センター）　勝　眞理（アシックス）　迫部　唯行（ユニチカ）
澤田　淳（TMT マシナリー）　鈴木　芳史（帝人）　髙橋　朋子（旭化成）
中川　隆（村田機械）　峯村　慎一（東洋紡）　村井　大輔（消費科学研究所）

# 見学会「村田機械（株）ならびに津田駒工業（株）」

昨年開催されたITMA2015ミラノにおいて，最先端の技術力をアピールした日本の繊維機械メーカー2社を見学できます．部品加工から組立製造ライン，完成した製品までの一連の製造工程を見学します．また，製品についての説明も行います．多数の方々のご参加をお待ちしています．

**日　時**　**平成28年11月18日(金) 午後**

**会　場**　村田機械株式会社　加賀工場（石川県加賀市南郷町ソ-1-1）
津田駒工業株式会社　本社・工場（石川県金沢市野町5-18-18）

**内　容**

12.30　集合「加賀温泉駅」，バスにて移動

13.00～14.30　見学会（1）村田機械(株)加賀工場
村田機械(株)繊維機械事業部が販売する世界シェアNo.1の自動ワインダーおよび世界Only Oneの革新精紡機VORTEXの生産現場を見学します．
最先端の技術を活用し自動化に取り組んだ工場ライン，日本だからこそ維持出来る品質管理，常に改善を目指す姿勢や1秒へのこだわりなどを紹介します．

14.30～15.30　移動（バス移動）

15.30～17.00　見学（2）津田駒工業(株)本社・工場
最新鋭のエアジェットルームZAX9200i，ウォータジェットルームZW8100をショールームで見学し，これらの加工，組立の製造工程を見学します．
先のITMA2015において，「2105rpm」というエアジェットルーム史上最高回転数を記録した最新技術などを紹介します．

17.00～17.20　金沢駅へ移動，到着後解散

**定　員**　45名（定員になり次第締め切らせて頂きます．なお，都合によりご遠慮頂く場合がありますので，あらかじめご了承下さい．）

**参加費**　会員4,000円，非会員8,000円，学生会員1,000円，学生非会員2,000円（税別）

**その他**　詳細につきましては，参加者へご連絡致します．
当日はバスで移動を行います．自家用車でのご参加を受け付けておりません．

**申　込**　「見学会 村田機械㈱・津田駒工業㈱」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別を記入の上，FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい．学会HPより参加申込用紙のダウンロードができます．

**申込先**　日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，info@tmsj.or.jp

**【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】**

**塾　長**　松田　正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）
**副塾長**　近藤　健一（大正紡績㈱ 繊維事業本部長 兼 東京営業所長）　八代　芳明（東海染工㈱ 代表取締役社長）
山下　雅生（㈱エイガールズ 代表取締役社長）
**幹　事**　松下　義弘（京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授）
**運営委員**　糸井　弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）　宇治　光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）
臼谷旗世彦（大津毛織㈱ 代表取締役）　貝原　良治（カイハラ㈱ 代表取締役会長）
北丸　豊（豊栄繊維㈱ 代表取締役社長）　桑名　紀夫（日本パーソナルカラー協会 顧問）
髙澤　史納（髙澤織物㈱ テキスタイルデザイナー）　髙杉　哲朗（㈱ショーワ 代表取締役社長）
辰巳　雅美（辰巳織布㈱ 代表取締役社長）　松尾　憲久（マツオインターナショナル㈱ 代表取締役社長）
山本　敏明（西染工㈱ 代表取締役）　米倉　勝久（㈱タカラ 代表取締役会長）
渡邊　利雄（渡辺パイル織物㈱ 代表取締役社長）

テキスタイルカレッジ

# 織り組み編み基礎講座

布は，用途・目的に応じて，「織る」，「組む」，「編む」などの方法で製造されています．衣料用のみならず，産業用途としても織・組・編の構造物が多く用いられている昨今です．これらの構造物は複合材料にも様々な分野で用いられており，それぞれの構造の特徴を捉えることで，さらにその用途を広げる可能性が秘められています．

織・組・編の専門家を講師としてお迎えし，テキスタイルの製造方法や構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたって，わかりやすく解説していただきます．布の製造工程に携わっておられる方々のみならず，幅広い分野の方々を対象としています．多数の方々のご参加をお待ちしています．

**日　時**　**平成 28 年 9 月 9 日（金）10.00～17.55**

**会　場**　大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩５分）

**内　容**　(1) 織物（10.00～12.00）…… 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 所長　古谷　稔
(2) 組物（13.00～15.00）…… 村田機械㈱ 研究開発本部　技術開発センター　魚住　忠司
(3) 編物（15.15～17.55）
3-1）横編（15.15～16.15）
…… あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室　福田　ゆか
3-2）丸編（16.25～17.05）…… ㈱福原精機製作所 技術部開発課　武内　俊次
3-3）経編（17.05～17.55）…… 日本マイヤー㈱ 営業課 課長　三船　宏之

**協　賛**　大阪染色協会

**定　員**　30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費**　会員 15,000 円，非会員 23,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

**申　込**　「テキスタイルカレッジ織り組み編み基礎講座」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます．

**申込先**　日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

## テキスタイルカレッジ予定表

テキスタイルカレッジは，海外諸国に比較して弱体化しつつあり，体系的教育がほとんど行われていなかった我が国の繊維教育に対し，本学会が持つ繊維に関する知識情報の動員機能を活用して，人材育成と技術継承を主目的とした歴史ある教育コースです．

ベテランの方々には知識の整理に，中堅の方々には情報の収集に，若手の方々には基礎知識の吸収に，テキスタイルカレッジへのご参加をお薦め申し上げます．

平成 28 年
開催済　「２日で学ぶ布づくり」（２日間）
開催済　「糸づくり講座」
開催済　「染色加工基礎講座」（２日間）
9 月　9 日（金）「織り組み編み基礎講座」
10 月 14 日（金）「染色加工応用講座」
10 月 20 日（木）「不織布実用講座」（１日目）
10 月 21 日（金）「不織布実用講座」（２日目）
11 月 25 日（金）「実習：KES による布特性の測定講座」
12 月　6 日（火）「合繊の基礎と最新の技術」（１日目）
12 月　7 日（水）「合繊の基礎と最新の技術」（２日目）
平成 29 年
3 月　3 日（金）「繊維製品の品質管理と品質保証」
開催日未定　「感覚と計測」

テキスタイルカレッジ

# 染色加工応用講座 - 繊維機能後加工・評価 -

テキスタイルカレッジ「染色加工基礎講座」では，染色理論から繊維別での染色加工技術および繊維製品の品質保証に関する基礎について概説しました.「染色加工応用講座」では，基礎講座を踏まえ繊維別染色加工の応用技術だけでなく，高機能素材などの要素技術，さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を，繊維業界に長年携わってこられた方々によりわかりやすく解説していただきます．講義内容には，最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています．染色加工に携わっておられる方々のみならず，アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので，多数の方々のご参加をお待ちしています.

**期　日**　**平成 28 年 10 月 14 日(金) 10.00～18.30**

**会　場**　大阪科学技術センター（大阪市西区靭本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩５分）

**内　容**

(1) 機能加工剤（10.00～12.00）…… 元日華化学，金﨑技術士事務所　金﨑　英夫
最近の機能加工剤は機能の探求だけでなく，安全性，環境への影響を配慮して開発がなされております．ここでは撥水撥油加工剤，防汚加工剤，衛生加工剤，難燃加工剤，水系ウレタン樹脂加工剤を中心に機能，加工処方等に関して解説します.

(2) 機能加工「ウール」(13.00～14.00) …… 元日本毛織，元日本羊毛産業協会　長澤　則夫
ウールは元々多くの機能を併せ持っています．例えばはっ水性，難燃性，形態安定性，消臭性，セット性などが挙げられます．しかしその性質を個々に評価すると，いずれもが機能性を訴えるには力不足なので,加工により補強しています.この点をわきまえて,加工の考え方とその実例について解説します.

(3) 機能加工「合繊」(14.10～15.10) …… 岐セン㈱ 代表取締役社長　後藤　勝則
合繊及びその複合織編物の高付加価値を図る手段として機能性付与加工は，テキスタイル加工の重要な要素技術の一つである．機能性付与技術及び融合技術を染料・染色加工・後工程の各工程での考え方，加工手法などを事例に沿って解説します.

(4) 機能加工「綿」(15.20～16.20) …… 倉敷紡績㈱ 繊維事業部 技術部長付　勝圓　　進
天然繊維である綿の人類とのかかわりは歴史的に古く，適度な吸水，吸湿性や風合いの柔らかさなどの特長を生かして，今なお代表的な繊維として様々な分野で使用されています．その一方で，機能性付与についての研究開発も盛んに行われていますので，これらの動向について紹介します.

(5) 評価（16.30～18.30）……（一社）繊維評価技術協議会 参事，日本繊維機械学会フェロー　越智　清一
我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例，機能性試験方法の JIS，ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」および「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について，その付与メカニズムと評価方法について解説します.

**協　賛**　大阪染色協会

**定　員**　30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費**　会員 15,000 円，非会員 23,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

**申　込**　「テキスタイルカレッジ染色加工応用講座」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます.

**申込先**　日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

**染色加工研究委員会**

委員長　上甲　恭平（椙山女学園大学）

運営委員　伊藤　博（イトー・ピー・イー・オフィス）　今田　邦彦（今田技術士事務所）　上野　清隆（日阪製作所）
越智　清一（繊維評価技術協議会）　改森　道信（改森技術士事務所）　金﨑　英夫（金﨑技術士事務所）
嶋田幸二郎（嶋田技術士事務所）　長澤　則夫（日本羊毛産業協会）　橋本　嘉顯（東洋紡リビングサービス）
森本　國宏（森本技術士事務所）　吉川　雅敏（東洋紡）

テキスタイルカレッジ

# 不織布実用講座

不織布の概論，短繊維ならびに長繊維不織布の製法，加工法ならびに構造と性質および用途などについて，最新の情報も含めて系統的にやさしく解説します．

シニアの方には知識の整理のため，若手の方は基礎知識の習得を目的としています．不織布についての体系的な知識を得ようとされている方々の多数のご参加をお待ちしています．

**期　日**　**平成 28 年 10 月 20 日（木），21 日（金）**

**会　場**　大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩５分）

**内　容**

**1 日目【10 月 20 日（木）】**

（1）不織布概論（10.00～12.00）
……日本不織布協会顧問，不織布研究会委員長，日本繊維機械学会フェロー　矢井田　修

（2）短繊維不織布技術―乾式不織布（13.00～14.10）
……倉敷繊維加工㈱ 企画開発部 部長　近石　尚樹

（3）短繊維不織布技術―湿式不織布（14.20～15.30）
……特種東海製紙㈱ 研究開発センター 市場開発部 部長代理　服部　　景

（4）不織布の物性測定について（15.40～16.40）
……神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授　井上　真理

**2 日目【10 月 21 日（金）】**

（5）長繊維不織布技術―メルトブロー（10.00～11.10）
……高知県立紙産業技術センター 加工技術課 チーフ　鈴木　慎司

（6）ナノファイバー不織布の作製と実用（11.20～12.30）
……ナノファイバー研究会委員長，東京大学 生産技術研究所 研究員
大阪成蹊短期大学 准教授　山下　義裕

（7）長繊維不織布技術―スパンボンド（13.20～14.30）
……東洋紡㈱ 生活・産業マテリアル統括部 スパンボンド事業部長　田中　茂樹

（8）不織布の用途について（14.40～15.50）
……クラレクラフレックス㈱ 開発加工グループ グループリーダー　新井田康朗

（9）修了証贈呈式（15.50～16.00）

**協　賛**　大阪染色協会

**定　員**　40 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費**　会員 25,000 円，非会員 33,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

**申　込**　「テキスタイルカレッジ不織布実用講座」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます．

**申込先**　日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

**情報化委員会**

委員長　保田　和則（愛媛大学）
委　員　武内　俊次（福原産業貿易）　山下　義裕（大阪成蹊短期大学）　横山　敦士（京都工芸繊維大学）

テキスタイルカレッジ

# 実習：KES（Kawabata Evaluation System）による布特性の測定講座

布の風合いの客観的評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後，少人数での実習を行います．実習では, KES-F（auto system ではありません）によって布の力学的特性（引張, せん断, 曲げ, 圧縮特性）と表面特性を，KES Thermo-labo Ⅱによって熱・水分移動特性（最大熱流束 qmax，熱コンダクタンス，熱損失）を測定していただきます．

布の物理特性について学びたい，KES-F を所持しているので測定原理を復習したいというだけでなく，基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料（たとえば不織布，皮革類，紙，フィルム，その他硬い材料など）に応用したい，さまざまな条件設定について知りたいなど，これまでの事例を踏まえ，触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します．布の物理特性を勉強する機会のなかった方や感覚の客観評価に興味をお持ちの方等を対象に，布の触感の客観評価の基本的用語等を理解できるように企画しました．

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います．関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております．

**期　日**　**平成 28 年 11 月 25 日（金）**

**会　場**　神戸大学発達科学部（神戸市灘区鶴甲 3-11）
JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後，各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大発達科学部前 下車．

**講　義**　第１班：11.00～13.00，第２班：14.00～15.00
（1）KES-F による布の力学特性，表面特性，および熱・水分移動特性の測定
…… 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授　井上　真理

**実　習**　第１班：11.00～13.00，第２班：15.00～17.00
（2）1）布の曲げ特性，せん断特性，引張特性の測定
2）布の圧縮特性，表面特性の測定
3）布の熱・水分移動特性（最大熱流束 qmax，熱コンダクタンス，熱損失）の測定
１班を３つに分けて，ローテーションで実習を行います．
…… カトーテック㈱ならびに井上真理
必要な方は実習後に質疑等お受けします．

**定　員**　第１班，第２班それぞれ 15 名（計 30 名）（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**協　賛**　大阪染色協会

**参加費**　会員 10,000 円，非会員 18,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

**申　込**　「テキスタイルカレッジ実習：KES による布特性の測定講座」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別，⑤第１班，第２班希望順位（申込状況により第１希望に添えない場合がございますので，あらかじめご了承ください）を記入の上，FAX または E-mail にてお申し込み下さい．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます．

**申込先**　日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

# 合繊の基礎と最新の技術

合成繊維についての，合成･重合･紡糸（スーパー繊維を含む），糸加工，製布，染色加工および特化素材について，基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました．

これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不充分で，広い範囲の知識が求められます．本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています．

講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにし，質問にも答える時間を設けていますので，この機会に多数の方々のご参加をお待ちしています．

**日　時**　**平成 28 年 12 月 6 日(火)，7 日(水) 10.00～17.10**

**会　場**　大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩５分）

**内　容**

**第 1 日目【12 月 6 日(火)】**

(1) 化合繊概論（10.00～12.00）…… 山﨑技術士事務所 代表　山﨑　義一
—種々の化学繊維の概要を説明し，その技術史ならびに産業論を含めて解説します．

(2) 合成繊維のモノマー，重合，ポリマー，化学改質（13.00～15.00）
…… 名古屋大学名誉教授，名古屋産業科学研究所 上席研究員　小長谷重次
—３大合繊とポリウレタンを対象としたモノマー，重合，ポリマー，化学改質について解説します．

(3) 合成繊維の繊維化プロセス，構造と物性の関係（15.10～17.10）
…… 龍谷大学 REC，P&P リサーチ代表，日本繊維機械学会フェロー　石原　英昭
—紡糸工学の概要を説明し，特に溶融紡糸，乾式紡糸などの実際例を紡糸挙動，繊維構造，物性などと関連づけて解説します．

**第 2 日目【12 月 7 日(水)】**

(4) 合成繊維の高次加工—染色加工（10.00～12.00）
…… 元帝人，日本繊維技術士センター執行役員　嶋田幸二郎
—合成繊維の染色技術および染色加工工程での高付加価値加工や機能性付与技術について，原糸開発との関連において，その基礎知識と最近の技術動向を解説します．

(5) 合成繊維の高次加工—糸加工，製布（13.00～15.00）…. 日本繊維技術士センター 評議員　藤田　隆嘉
—合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚，エア加工，撚糸および混繊・複合を含む糸加工の目的，手法，効果，それを生かす製布の概要について解説します．

(6) スーパー繊維とその用途展開（15.10～17.10）
…… 東洋紡㈱ 機能材開発研究所 総合研究所 研究企画管理室 部長　寺本　喜彦
—近年，スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に，その基本から最近の用途開発事例について解説します．

**協　賛**　大阪染色協会

**定　員**　30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費**　会員 25,000 円，非会員 33,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

**申　込**　「テキスタイルカレッジ合繊の基礎と最新の技術」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます．

**申込先**　日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

# 第 44 回繊維工学研究討論会 2016（ニューデリーにおける国際シンポジウム）The 44th Textile Research Symposium

今年の第 44 回繊維工学研究討論会は，インドのニューデリー市にある，Indian Institute of Technology Delhi（インド工科大学）に於いて開催します．繊維工学に関する発表（口頭またはポスター）を募集しておりますので，積極的なご参加，研究発表をお待ちしています．

**期　日**　**平成 28 年 12 月 13 日（火）**集合，移動
**12 月 14 日（水）**登録，繊維工学研究討論会 1 日目
**12 月 15 日（木）**繊維工学研究討論会 2 日目
**12 月 16 日（金）**繊維工学研究討論会 3 日目
**12 月 17 日（土）**国際交流
**12 月 18 日（日）**移動，解散

**会　場**　繊維工学研究討論会の会場：Indian Institute of Technology Delhi（インド工科大学）
Hauz Khas, New Delhi 110016, India（http://www.iitd.ac.in/）

**参加費**　一般参加者 400 US ＄，学生参加者 200 US ＄（支払いは会場受付）
参加費の中には，ローカルな交通費（空港ホテル間の送迎，ホテル会場間の毎日の行き来），3 日間のティー／コーヒー，ランチ／ディナーの費用，会議（本または CD），バッグの費用，市内のエクスカーションの費用が含まれています．

**発表申込**　URL：www.44trsiitd.com より申込み下さい．
発表申込・アブストラクトの締切：平成 28 年 7 月 31 日（日）
フルペーパーの締切：平成 28 年 9 月 15 日（木）

**参加申込**　平成 28 年 11 月 30 日までに事前登録をお願いします．

**オーガナイザー**
インド側：Dr. B.K Behera, Department of Textile Technology, Indian Institute of Technology, Delhi, Hauz Khas, New Delhi 110016,E-mail：bijoy.behera@yahoo.com
Tel. 91-11-26592424,Fax. 91-11-26562503
日 本 側：米田　守宏（奈良女子大学 生活環境学部）〒 630-8506 奈良市北魚屋西町
E-mail：yoneda@cc.nara-wu.ac.jp，Tel&Fax：0742-20-3463

**旅行代金**　234,000 円（SINGLE），193,000 円（TWIN）（宿泊費，航空券を含む．只今の予定です．）
宿泊ホテル：Hilton Garden Inn New Delhi：四つ星ホテル
フライトについて（現況の予定であり，変更になる可能性があります．JL ＝日本航空利用）
12 月 13 日（火）JL-3002 便伊丹（8.00）－成田（9.20），JL-749 便成田（11.35）－デリー（18.20）
12 月 18 日（日）JL-740 便デリー（20.20）－成田（12 月 19 日 7.10），JL-113 便羽田（10.30）－伊丹（11.40）

**ビザについて**　インド訪問にはビザが必要です．ビザ取得申込みも可能です．ビザ取得費用 9,100 円

**申込方法**　学会 HP より参加申込み用紙をダウンロード頂き，以下宛先までお申し込み下さい．

**申込み先**　旅行企画・実施　㈱ジェイワールドトラベル　担当：橋本　賢次
〒 541-0052 大阪市中央区安土町 3-4-10 京阪神安土町ビル 3 F
TEL. 06-6266-2229，FAX.06-6266-3447（観光庁長官登録旅行業 第 1359 号）
E-mail：hashimoto@jw-trvl.co.jp

**問合せ先**　日本繊維機械学会　TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail：info@tmsj.or.jp
ジェイワールドトラベル　担当：橋本 TEL. 06-6266-2229，E-mail：hashimoto@jw-trvl.co.jp

# 第 45 回繊維工学研究討論会（国際シンポジウム）2017

**期　日**　**平成 29 年 9 月 14 日（木）～16 日（土）**

**会　場**　京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館（京都市左京区松ヶ崎御所海道町）

## 関東支部　講演会・見学会

この度，関東支部では目覚ましい復興が続く福島の地において，講演会･見学会を開催する運びとなりましたので，下記の通りご案内申し上げます．なお，本行事へは本学会員のみならず，また，関東支部地域にこだわることなく，どなたでもご参加いただけます．ご高配の程，宜しくお願い申し上げます．講演会，見学会の参加費は無料です．ただし，定員になり次第，締め切らせていただきます．

**日　時**　**平成 28 年 9 月 29 日(木)，30 日(金)**

**会　場**　コラッセふくしま企画展示室　（JR 福島駅，徒歩２分）
http://www.corasse.com/access

**内　容**　第一部：講演会 9 月 29 日（木）12.45～16.30

１．講演

（1）着かないモノを，着ける技術，車や飛行機の軽量化も可能（12.45～13.45）
…… 福島大学 共生システム理工学研究科 教授　金澤　　等

（2）京都市域の繊維産業支援に向けた取組事例の紹介（13.45～14.45）
…… 京都市産業技術研究所　杉浦　和明

ポスター発表／コーヒーブレイク（14.45～15.30）

（3）再生可能エネルギー研究の最前線（15.30～16.30）
…… 産総研 福島再生可能エネルギー研究所 研究センター長　仁木　　栄

第二部：見学会 9 月 30 日（金）現地集合 13.30 スタート（90 分の予定）
見学先：産総研　福島再生可能エネルギー研究所

**定　員**　講演会（9 月 29 日）100 名，見学会（9 月 30 日）10 名

**参加費**　無料

**申　込**　氏名，所属，連絡先をご記入の上，以下まで E-mail または FAX にて申込み下さい．

**その他**　1 日だけのご参加も受け付けております．是非，前向きにご検討下さい．9 月 29 日の宿泊先を関東支部で斡旋します．必要な方はお問い合わせ下さい．参加申し込みの際は，連絡先メールアドレスを必ずお知らせ願います．

**申込先**　E-mail：idaida@gunma-u.ac.jp，FAX.0277-30-1409

**問合せ先**　関東支部長代理，群馬大学　理工学部 環境創生部門　河原　豊
〒 376-8515　桐生市天神町 1-5-1　TEL.0277-30-1491，kawahara@gunma-u.ac.jp

## 中国支部　平成 28 年度中国支部研究及び事例発表会発表募集

中国支部では日本繊維製品消費科学会中・四国支部と共催で平成 28 年度研究及び事例発表会を開催します．多数方々の発表をお待ちします．

**期　日**　**平成 28 年 12 月 9 日(金) 13.30～**

**会　場**　岡山県立図書館 2F サークル活動室（岡山市丸の内 2-6-30）
http://www.libnet.pref.okayama.jp/

**要　領**　①発表題目，②発表者名（共同研究の場合には発表者に○），③連絡先（電話番号，FAX 番号，利用可能ならば E-mail アドレス）を記入の上，9 月 30 日（金）必着で下記宛お申し込み下さい．

**申込み・問い合わせ先**　日本繊維機械学会中国支部事務担当，倉敷市立短期大学服飾美術学科　道明　伸幸
（〒 711-0937 倉敷市児島稗田町 160）
TEL.086-473-1859，FAX.086-473-1857，E-mail：michiaki@m.kurashiki-cu.ac.jp

## 北陸支部　平成 28 年度北陸支部研究発表会発表募集

北陸支部では平成 28 年度の研究発表会を下記の要領で開催します．恒例の「北陸支部優秀発表賞」（若手発表者【平成 28 年 4 月 1 日現在で 35 歳以下】で審査希望のあった発表の中から優れた研究発表を選出する）の表彰も行います．奮ってご参加ください．

**期　日**　**平成 28 年 12 月 7 日（水）（開催時刻は後日案内：発表件数による）**

**会　場**　福井市内を予定（会場は未定）

**要　領**　①発表題目，②発表者の氏名と所属（共同研究者の場合には発表者に〇印），③発表種別 1. 一般セッション，2. 優秀発表審査セッション（このセッションは平成 28 年 4 月 1 日現在で 35 歳以下の発表者に限ります），④連絡先（連絡者の氏名，所属，電話番号，E-mail アドレス）を記入の上，平成 28 年 9 月 26 日（月）必着にて，FAX，郵便，E-mail などで下記宛にお申し込みください．

**申込先**　日本繊維機械学会 北陸支部事務局　担当：植松英之
〒 910-8507　福井市文京 3-9-1
福井大学　大学院工学研究科　繊維先端工学専攻
TEL. 0776-27-9952，FAX. 0776-27-8767，E-mail：uematsu@matse.u-fukui.ac.jp

## 協賛行事　第 20 回成形加工テキストセミナー

**日　時**　**平成 28 年 9 月 27 日（火）**

**会　場**　きゅりあん 6 階大会議室（東京都品川区東大井 5-18-1）

**主　催**　プラスチック成形加工学会

**内　容**　第 I 巻「流す・形にする・固める」＆第 II 巻「成形加工における移動現象」

**その他**　詳細はプラスチック成形加工学会 HP（https://www.jspp.or.jp/）をご参照下さい．

## 協賛行事　第 25 回日本睡眠環境学会学術大会

**日　時**　**平成 28 年 9 月 28 日（水）～ 30 日（金）**

**会　場**　足利市民会館別館ホール（栃木県足利市有楽町 837）

**主　催**　日本睡眠環境学会

**内　容**　「睡眠環境学の新たな地平を開く－基礎から応用への知見－」

**その他**　詳細は日本睡眠環境学会 HP（http://www.sse-japan.com/）をご参照下さい．

## 協賛行事　第 40 回静電気学会全国大会

**日　時**　**平成 28 年 9 月 29 日（木），30 日（金）**

**会　場**　群馬大学桐生キャンパス（群馬県桐生市天神町 1-5-1）

**主　催**　静電気学会

**その他**　詳細は静電気学会 HP（http://www.iesj.org/）をご参照下さい．

# バーチャルテキスタイル研究会のご案内と入会のお誘い

繊維製品は衣服をはじめとする日用品から工業製品にまで多様な分野で使用されています．その制作工程は長い歴史があり，多様な技術開発の積み重ねにより高精密で多くの繊維構造体の作成が可能となった結果，多様な繊維製品を市場に送り出しています．

他方，コンピュータをはじめとした情報機器が発達し，その高速データ処理機能を製造現場において活用する試みが急速に進んでいます．また，近年では製造現場のみならず製品開発過程におけるコンピュータ利用が進み，製品設計開発におけるコンピュータ利用技術（CAE）の導入が進んでいる状況です．

このような技術展開は繊維製品においても始まっており，各種シミュレーション技術を用いてバーチャル空間で繊維製品の表現し，さらにはその機能的な評価を行うことで，より効率的な製品開発を行う試みが各所で始められてきています．

総合的な繊維製品の製品開発におけるコンピュータ利用についての調査・研究を行う本研究会は，繊維製品のコンピュータによる表現技術，変形挙動や機能特性のシミュレーション技術等，繊維製品の製品開発におけるコンピュータ利用についての情報収集を行うことにより，コンピュータを利用したより高度な繊維製品開発技術の可能性について，研究例会または見学会を年 2,3 回予定しています．

研究会の設立趣意にご賛同の方々のご入会をお待ちしています．

**活　動**　活動は 4 月から翌年 3 月までを 1 年度とし，1 年度に研究例会を 2，3 回開催予定．
その他，必要に応じて見学会，協賛共催行事を行います．
基本的に登録メンバーのみによる活発なディスカッションを主体に活動します．

**設立発起人**　（順不同）

横山敦士（京都工芸繊維大学），石丸園子（東洋紡），中西康雅（三重大学），西脇剛史（アシックス），
山下義裕（大阪成蹊短期大学）

**運営分担金**

・運営分担金は，会場借上費，会合費，資料作成費，通信連絡費，講師謝礼・交通費等に充当します．
・法人（企業・団体）メンバー：20,000 円（税別，年額）同一企業・団体から複数名の参加が可能．
・個人メンバー（大学，公設試ならびにそれに準ずる方）：5,000 円（税別，年額）登録者本人のみ研究会へ参加が可能．代理参加をすることはできない．
・学生 1,000 円（税別，年額）登録者本人のみ研究会へ参加が可能．代理参加をすることはできない．

**入会方法**　学会 HP より研究会入会申込書のダウンロードし，下記宛先までお申込み下さい．

**申込先**　日本繊維機械学会バーチャルテキスタイル研究会
〒 550-0004　大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail：info@tmsj.or.jp

# FMC 9 月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の 9 月度セミナーは，下記により開催されます．非会員でもビジターとして参加できます．ご関心のある方はお申込み下さい．

詳しくは FMC のホームページ（http://www.geocities.jp/fmc_webpage/）をご参照下さい．

**日　時**　**平成 28 年 9 月 2 日（金）18.15〜20.00**

**会　場**　大阪産業創造館 5F 研修室 AB（大阪市中央区本町 1-4-5）

**内　容**　服飾資材を中心に 2017 のトレンドを予測

グッチなどコレクションでもテープ・レース・ボタンなど服飾資材をヒントにトレンドになる事が多くみられ，2017 春夏から秋冬シーズンで服飾資材をベースにファッショントレンド予測．店頭写真，現物サンプル，テープ・ボタンなどの服飾資材の最新情報をわかりやすく解説します．

**講　師**　デザインルームヒロセ主宰　田中　智之

**参加費**　ビジター会員 2,000 円．当日受付にてご納入下さい．［会員は年 11 回のセミナー（10 月は見学会）に無料で参加できます．年会費 12,000 円でどなたでも会員になれます．］

**申　込**　「FMC9 月度セミナー」と明記し，①氏名，②住所，③電話または FAX 番号をご記入の上，8 月 26 日（金）までに E-mail にて下記宛てお申し込み下さい．

**申込先**　大阪樟蔭女子大学　被服学科内　FMC 事務局　E-mail：fmc.office.mail@gmail.com

# 京都女子大学専任教員募集要項

１．職名及び人員　家政学部生活造形学科教授（契約）・教授又は准教授で、且つ大学院家政学研究科生活造形学専攻博士前期課程授業担当教員　１名

２．専門分野　染色加工学、アパレル管理学

３．担当予定科目　大　学：「生活造形基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「衣生活概論」「アパレル染色学」「アパレル管理学」「工芸染色実習」「テキスタイルアドバイザー実習」「アパレル染色整理学実験」「生活造形学専門演習」「生活造形学卒業研究演習」
大学院：「アパレル造形学特論ＶＡ・ＶＢ」

４．採用年月日　平成２９年４月１日

５．応募資格　（１）京都女子大学教員資格審査規程第６条及び第７条又は第８条に該当する者並びに京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規第３条第１項に該当する者
（２）博士の学位を有する者、あるいはそれに相当する研究業績を有する者

６．提出書類　（１）履歴書及び業績書※
（文部科学省の定める「専任教員の個人調書」に準じた本学の様式とする）
（２）最近１０年間の著書・主要論文（又は抜刷り）５点　各２部
（３）着任後の教育・研究に対する抱負を 1,200 字程度にまとめたもの（Ａ４判横書１枚）
（４）「アパレル染色学」（２単位）及び「アパレル管理学」（２単位）のシラバス（15 回分）※

７．選考方法　京都女子大学の教員資格審査規程に基づいた書類審査と面接審査を行う。面接審査には模擬授業を含めることがある。なお、面接審査を行う場合は９月２２日（木）～９月２４日（土）に実施する。
（面接審査等にかかる旅費、宿泊費は応募者の負担とする）

８．応募締切日　平成２８年９月１３日（火）17:00 必着

９．提出先　〒605－8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35 番地
京都女子大学　教務部学部事務課
（郵送の場合は「教員募集応募書類在中（造形Ｓ）」と明記し、書留とする）

10．処遇　給与などの勤務条件は、本学の就業規則・俸給規程等の諸規定を適用します。（定年は教授（契約）73 歳、教授及び准教授 65 歳）

11．その他　①応募書類により取得する個人情報は、本学の個人情報保護に関する規程に従って適正に管理し、選考以外の目的には使用しません。
②提出いただいた応募書類等は、原則として返却いたしません。本学にて適切に処分いたします。返却を希望される方はその旨を明記してください（着払いにて返送いたします）

12．書式請求及び問い合わせ先　京都女子大学　教務部学部事務課
電話：075－531－7045　ＦＡＸ：075－531－7216

※提出書類（１）（４）は、本学 Web サイトの採用情報
(http://www.kyoto-wu.ac.jp/gakuen/recruit/n6eaci0000001uge.html)
からダウンロードしてください。
※なお、平成 28 年 8 月 8 日～8 月 16 日は閉室とさせていただきます。

# 海外繊維技術文献集 Vol. 66, No. 4（2016-7）内容目次

**全訳**

・高い紡糸速度を用いた湿式紡糸によるセルロース／１－エチル－３－メチルイミダゾリウム－アセテート溶液からのセルロースファイバー

**抄録**

・マグネチックエレクトロスパンナノファイバーに及ぼす $Fe_3O_4$ ナノ粒子の影響
・応答曲面法を用いたリング精紡プロセスの最適化
・ローター紡績糸の品質に及ぼすスロット付き出口の繊維輸送経路の最終形状の影響
・緯糸挿入のためのエアージェットルームのサブノズルに関する実験的検討
・メランゲ糸のモデリングに対する待ち行列理論の応用（第２報）繊維のマイグレーション確率の評価法および糸の構造シミュレーションアルゴリズム
・機能性繊維－添加剤が後の繊維加工工程の摩擦特性に及ぼす効果
・ロートルク紡績糸およびリング紡績糸の構造特性
・実験計画法を用いたささべり糸の品質と構造特性
・ツェッペリンの遺産：織物をエンジニアリング材料と定義する
・土木工事における潜在的用途のためのジュートジオテキスタイルの設計と開発
・最適で現実的なガボールフィルターの設計と布欠点検出への利用
・3 次元 6 方向可変円錐形断面の管状組紐の微細構造解析と体積率モデル
・不織布の視覚的均質性認識のためのロバストベイジアンおよび LVQ ニューラルネットワークの比較
・ポリアミド／モダール混紡織物とポリアミド 100％織物に関する比較研究
・アラミド織布構造体における一本および多数本の糸の引き抜き
・ポリトリメチレンテレフタレート／ポリエチレンテレフタレート二成分フィラメントからなる織布の弾性
・バイロフト混紡編地の一般的性能に関する包括的研究
・$\beta$－シクロデキストリンで処理した生地に対する抗菌性の付与
・薬理的染料の合成とその合繊織物への応用
・Combretum latifolium Blume stems の水抽出物による綿糸の染色に及ぼす添加物の影響
・ヘミシアニン蛍光反応性カチオン染料：合成と羊毛織物への利用
・イソインジゴ／ペヒマン染料ヘテロ類似化合物ハイブリッド染料の合成，キャラクタリゼーション，ポリエステル織物への利用
・ワインディングなしの単糸の測色と色合わせのマルチスペクトル画像法
・ポリ乳酸繊維 Ingeo™ 繊維の染色プロセスにおける構造変化に関する研究
・消防士用防護服の放熱効果を改善するための衣服の換気対策
・ランニングシャツの設計データ：運動分解に基づく下肢の皮膚歪み分布
・フォトクロミックテキスタイルの耐光堅ろう度を評価する機器法の研究
・紡績工場は世界のどこに投資すべきか？
・日本の環太平洋戦略的経済連携協定への加入は米国繊維産業にとって好機となるか，脅威となるか？定量的評価
・マイクロ波技術を使用して繊維を着色するための無機ピグメントナノ粒子の合成と特性評価
・蜂蜜で処理をした PVA ナノウェブの調整と特性評価
・耐湿酸素バリヤ性を持った UV 硬化セルロースナノファイバー・コンポジット
・天然ゴムにおいて高負荷での環境に優しい強化剤としてのナノサイズセルロース誘導体
・ポリリン酸メラミンおよびイオン液体界面活性剤処理されたモンモリロナイトを持つポリアミド６の防燃性および機械特性

購読を希望の方は日本繊維機械学会事務局までご連絡下さい．

**海外資料研究委員会**

委員長　米田　守宏（奈良女子大学）
委　員　岡野　志郎（日本繊維製品品質技術センター）　安井　康二（元カケンテストセンター）　山崎　　隆（京都教育大学名誉教授）
和田　邦身（元カケンテストセンター）

# 日本繊維機械学会　書籍のご案内

## 学会 HP（http://www.tmsj.or.jp/）にて目次が見られます

**繊維工学（Ⅰ）繊維の科学と暮らし**（本体価格 3,500 円）

図や写真を豊富に入れ，やさしく読みやすく記述しました．広い視野に立って社会史・工業史・文化人類史等の色彩を加え，技術予測など将来展望を含んだ広範な解説です．

**繊維工学（Ⅱ）繊維の製造・構造及び物性**（本体価格 3,000 円）

繊維形成高分子の生成，高分子の特性化，高分子の繊維化，繊維の構造と性質など，出発原料である低分子化合物より一貫して繊維を基礎から理解できるよう記述しています．

**繊維工学（Ⅲ）糸の構造・性能及び物性**（本体価格 3,700 円）

従来の紡績学とは違った方向から糸づくりのすべてを体系化して，やさしく解説しています．

**繊維工学（Ⅳ）布の製造・性能及び物性**（本体価格 3,700 円）

布を織物・編物・不織布・組物・網・レースに分類し，各章ごとに製造と構造を説明し，さらに布全体としての性質を述べ，布づくりに関連する機械の紹介も網羅しています．

**繊維工学（Ⅴ）染色仕上**（本体価格 3,000 円）

染色仕上に関係するすべての研究者，技術者，および生産者，消費者を対象とし，染色の基礎科学から浸染・捺染・水洗・脱水乾燥・熱加工などの単位操作までを詳述しています．さらに生産管理や色彩論なども加えました．

**繊維工学（Ⅵ）最終繊維製品の製造と性能**（本体価格 3,000 円）

産業資材用繊維，アパレル，インテリアとエクステリアなどの製造と性能，さらにこれらの性能試験について，理論と実際の両面からバランスよく平易にまとめています．

**繊維産業発達史概論**（本体価格 2,716 円）

繊維産業の直系の祖先を訪ねることにより，人類の誕生から現在に至るまでの繊維を作る技術と，その産業の歴史を系統的にまとめたもので，世界にも類をみない．

**KES 特性値（パラメータ）を用いるテキスタイルの風合い・外観・快適性客観評価式**

（A4 版 65 頁，客観評価式の計算ソフト付き，本体価格 1,500 円）

本小冊子は川端・丹羽らによって開発された布の風合い客観評価式の全てを網羅したものである．KES システムで得られる基本力学特性値（パラメータ）を用いて，布の風合い客観評価式が用途別に誘導されており（1980），実際にこれらの式の計算に必要なデータ（特性値の標準偏回帰係数，平均値，標準偏差，等），及び KES システムの計測条件を一覧できる．

**1985 年版　繊維機器総目録（国産機）**（本体価格 3,000 円）

**繊維新素材・新製品データ集**（本体価格 4,800 円）（印刷発行 昭和 63 年 3 月 31 日）

【購入方法】

日本繊維機械学会 HP より購入申込書をダウンロード頂き，下記宛に E-mail または FAX にてお申し込み下さい．学会 HP（http://www.tmsj.or.jp/）にてすべての目次が見られます．

一般社団法人日本繊維機械学会
〒 550-0004 大阪市西区靭本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル６階
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail：info@tmsj.or.jp